

曾井町 保曾井神社

今回は、保曾井神社についてお話しします。しかし、社の由来や伝説については、社にあるパンフレットを見てください。今回は、ネット紹介されているちょっとユニークな記事を紹介します。

ダイエット神社として話題？「保曾井神社」を参拝しよう



保曾井神社の創建年代は不明ですが、伊勢神宮の社領の一つ「高角の御厨」に比定されており、古代から信仰の対象となっていた由緒ある神社です。現在は、天照大神から牛頭天王を祀る形態へ変遷していますが、江戸時代には三重郡曾井村の鎮守として役割を果たしました。

それがなぜ今焦点が当たっているのでしょうか。

そのわけはそのユニークな名前にあります。

神社名をゆっくり読んでください。

「は・そ・い」(細い)神社！

そう、いかにもダイエットに効能がありそうな名前なのです。

しかしながらこの保曾井神社。キャッチーな名前だけでなく、本当に効能がある神社という裏付けもあります。

曾井のそり橋まで参道を戻って左へしばらく進んでいくと「化粧の清水」を書かれた湧水点へ到着します。

実は、平安時代、長年鼻の横にある痣に悩んでいた和泉式部が、神のお告げに従って、この清水でその痣を洗い清めたところすっかり完治し、絶世の美女へと生まれ変わったという伝説があるのです。



そのため、この水は「化粧の清水」と名付けられ、この水を生活用水としている曾井地区には今でも美人が多いと言われています。

この「化粧の清水」は観音寺から湧いているのですが、その観音寺の氏神こそ、保曾井神社なのです。つまり、保曾井神社は名前だけでなく、かねてから女性に優しい効能を持っていた神社だと言えるでしょう。

このお話(記事の内容)知っていましたか。ネットで見つけたのは、本当にびっくりしました。神前にいるとなかなか知らないこともあります。その最後に、「全国的美意識の高い女子から注目を集めているのです。今やこの神社を訪れる人の多くが、体系のことを祈るようになりました。」と書いてありました。そのようなこと考えて祈ったことはありません。自分の地域なのに知らないこともあるのですね。